

病棟

医師、看護師、精神保健福祉士、心理士、栄養士、薬剤師など多職種と協働し、安心・安全に入院生活を過ごせるようお手伝いします。また、お薬での治療や精神療法に加え、作業療法を行っています。作業療法は、セルフケア能力の向上と低下予防を目的に個別性を考慮したプログラムを取り入れています。

- 3階病棟（開放病床33床、閉鎖病床23床）
主に認知症、急性期を脱した患者さまの治療・看護を行う病棟です。地域で生活が継続できることを目標とし、身体症状の回復と日常生活の援助を行います。
- 4階病棟（閉鎖病床49床）
急性期及び慢性期症状のある患者さまに治療・看護を行う病棟です。退院後どのような生活を送るのかについて意思決定できるよう支援し、退院後安心してその人らしく生活できるよう援助します。



明るく静かで落ち着いた
雰囲気の病室



各階のデイルームには公衆電話と自動販売機を備えています



ゆったりテレビを鑑賞したり雑誌を読んで過ごせます



知床連山やオホーツクの海を望むことができます



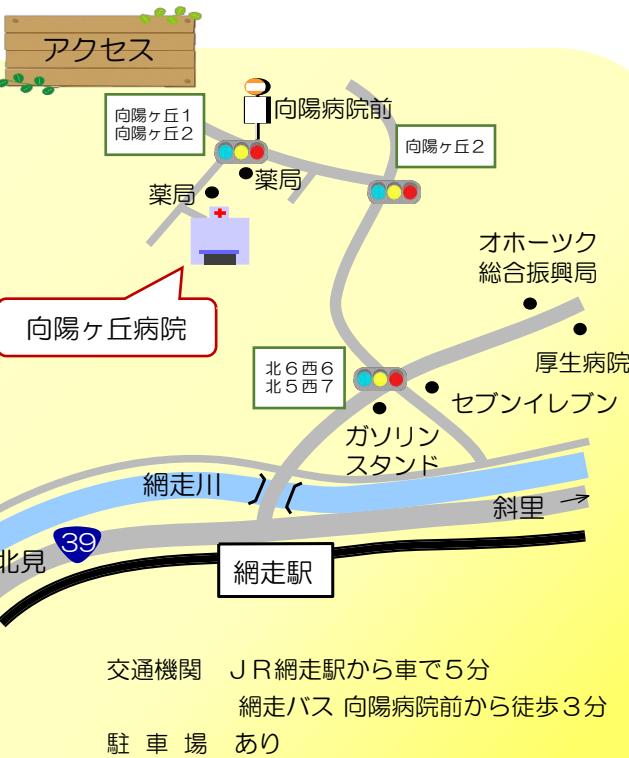
作業療法室



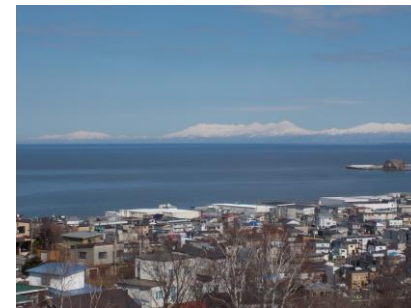
音楽会♪



作業療法の作品



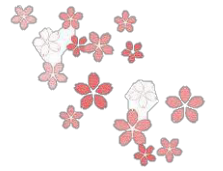
交通機関 JR網走駅から車で5分
網走バス 向陽病院前から徒歩3分
駐車場 あり



当院屋上からのオホーツク海

北海道立向陽ヶ丘病院
〒093-0084
網走市向陽ヶ丘1丁目5番1号
電話番号：0152-43-4138（代表）
FAX：0152-43-4365
URL：https://kouyougaoka.hospital.hokkaido.jp/

北海道立向陽ヶ丘病院では、オホーツク管内のこころの医療を担っています。



北海道立向陽ヶ丘病院

診療のご案内・受診について



精神科・心療内科

「こころの和と輪」を大切に患者さま、ご家族、地域の皆様と手を携え信頼と満足の医療を目指します

当院の役割と機能

主として成人及び高齢者の救急・急性期医療に関しオホーツク第三次保健医療福祉圏域における中心的な役割を担うとともに、訪問看護や精神科デイケアなどによる患者さまの社会復帰と在宅支援を実施しています。

病床数	救急	措置	応急	デイケア	訪問看護
105床	○	○	○	○	○

外来

診察時間	受付時間	月	火	水	木	金
9:00~12:30	8:50~11:30	○	○	○	○	○
13:30~17:00	13:15~16:30	-	再診のみ	-	再診のみ	-

※土日祝日及び年末年始（12/29～1/3）は診察をお休みさせていただきます。

外来受診に係る予約及びお問い合わせについて

＜患者さま、ご家族のみなさま＞

初診・再診とも予約制となっているため、電話予約をお願いします。外来看護師が症状などをお伺いしますので、平日の14:00～17:00の間に電話連絡をお願いいたします。

＜市町村、医療機関、居宅介護支援事務所等のみなさま＞

診療情報提供書をご用意の上、当院地域連携室へご相談・ご連絡ください。



外来ロビー



診察室

地域連携室・地域連携科（訪問看護）

地域の精神科医療のニーズを把握し、ほかの医療機関、関係施設、地域の多職種と連携強化を図り、患者さまが安心して地域で暮らすための精神科医療の提供を行っています。

訪問看護では患者さまが安心して地域生活を継続できるよう院内及び地域の多職種と連携を図り、患者家族のストレスを大切に患者参加型看護計画の立案と目標共有を図り看護ケアを提供しています。

訪問看護について

療養上の悩みや問題点を一緒に考え、患者さま・ご家族が安心して生活できるよう定期的にご自宅を訪問し、相談や必要な支援を行います。

- * ご家族やお薬、通院についての不安や悩みのご相談
- * 家事、金銭管理、余暇の過ごし方など日常生活についてのご相談
- * ご家族やご友人、職場など人間関係のご相談
- * 公共施設、行政機関、各種福祉制度（自立支援、年金、ヘルパーの利用、作業所等）の利用などを一緒に考えます。

訪問は、月曜日～金曜日の日中で1～4回/月、30分程度、地域連携科の看護師がご家庭に訪問し、お話を伺います。対象は、当院に通院されている方で、主治医の指示のもとで訪問させていただきます。網走市内の他に大空町、美幌町、斜里町、小清水町、清里町などの市街訪問も実施しています。

患者さまの紹介について（市町村、医療機関及び施設、訪問介護ステーション等のみなさま）

- 1 診療情報提供書をご用意の上、当院地域連携室へ電話またはFAXでご連絡ください。

電話：0152-43-4138（代表）
FAX：0152-61-2058

- 2 当院地域連携室から紹介元医療機関へ予約票をFAX送信します。
- 3 診療情報提供書と予約票を患者さまへ渡し、当院受診をご案内ください。
- 4 患者さまが診療情報提供書と予約票を持参して、当院を受診します。



ご家庭や地域で安心して生活できるよう支援しています

認知症疾患医療センター

専門医療相談の実施

ご本人、ご家族、医療や介護関係者などから、認知症についてご相談に応じます。

認知症の診断

認知症疾患に対し診察と検査を行い、診断に基づいた初期対応や治療等を行います。

周辺症状（精神症状）の対応

鑑別診断や薬物療法等の治療を行い、必要に応じて入院治療を行う体制を整えています。

研修会の開催・情報発信

医療・介護関係者を対象に研修会を定期的に開催します。また、老人クラブ等へ出前講座も行っています。

地域との連携

地域の医療機関や地域包括支援センター・保健所等との連絡・調整を行います。

認知症疾患医療センターもの忘れ外来受診の手続きについて

- 1 ご本人・ご家族がかりつけの医療機関へご相談ください。※かかりつけ医の診療科目は問いません。
- 2 かりつけ医療機関から当センターへ予約のご連絡 ※かかりつけの医療機関は、FAXでもの忘れ外来予約票を送信ください。

もの忘れ外来
電話&FAX：0152-44-0500

- 3 当センターがかりつけの医療機関へ予約票をFAXします。 ※ご本人・ご家族様は、かりつけの医療機関から予約票を受け取ってください。
- 4 受診日には、かりつけ医療機関からの紹介状原本、お薬手帳、予約票を持参ください。初回診察は、問診・検査・診察を行いますので、2時間程度（前後する場合あり）かかります。時間に余裕をもってご来院ください。

かかりつけ医がない場合等は、直接センターにご相談ください。
認知症疾患医療センター専用電話：0152-44-0500
受付時間：9：00～16：30（土日祝日、年末年始を除く）



プライバシーに配慮した空間でご相談に応じます



認知症研修会



物忘れの悩みを抱えた方や認知症の不安がある方に専門のスタッフがご相談に応じます

リハビリテーション科

作業療法は、セルフケア能力の向上と低下予防を目的に個別性を考慮してプログラムを取り入れています。デイケアでは、様々なプログラムに参加することで仲間を作ったり、新しい体験をとおして、社会経験をする上での自信や体力をつけることを目指します。

デイケアのプログラム

- 【全体ミーティング】
デイケアの企画・運営をはじめ、テーマをみんなで一緒に話し合います。
- 【陶芸、七宝、絵画、手芸】
作品を作りながら、講師と一緒に楽しく活動します。
- 【認知トレーニング】
やわらかあたま教室でスライドを見たり、プリントを使い問題を解いたり、話し合ったりします。
- 【やさしい体操、健康運動】
ストレッチ体操やピラティスなどゆったり体操します。
- 【グループ活動】
ゲーム、カラオケ、読書など。自分に合った上手な時間の利用法を考えます。
- 【その他】
様々なプログラム活動があります。みんなで計画を立て楽しみながら考える機会にします。

利用日・時間について

月～金曜日 9：00～16：00

お問い合わせ・お申込み方法

主治医または外来看護師、デイケアスタッフにご相談ください。デイケア利用時間中は、いつでも見学が可能となっております。お気軽にデイケアまでご相談ください。



デイケアの作品



デイケア室

放射線科



当院のCT

当院では、単純撮影の他、CTを用いて検査をします。

CT検査の紹介

- 一、検査時間が、より速く!!
 - 二、窮屈感が、より少なく!!
 - 三、より良い画質で、少ない被ばく!!
- により患者さまに、やさしく・安全な検査を提供いたします。

検査科



検査室



心電図

一般に行われている臨床検査の他に、患者さまが飲んでおられるお薬の血中濃度検査を行っています。

薬局



薬局スタッフ

個別にお薬の飲み方を説明します

医薬品の管理、調剤などの基本的な業務に加え、入院患者さまへの適切な薬物治療を提供するために病棟に伺い、お薬の飲み方や副作用の説明などを行っています。

栄養科



季節やイベントごとにメニューを工夫しています

NST（栄養サポートチーム）のラウンド



入院患者さま全員に対し、栄養計画及び栄養評価を行い、管理しています。また、患者さま個々の嚥下状態に合った食事作りに力を入れているほか、褥瘡対策チーム・栄養サポートチームの一員として医師・看護師・薬剤師と連携して対応しています。